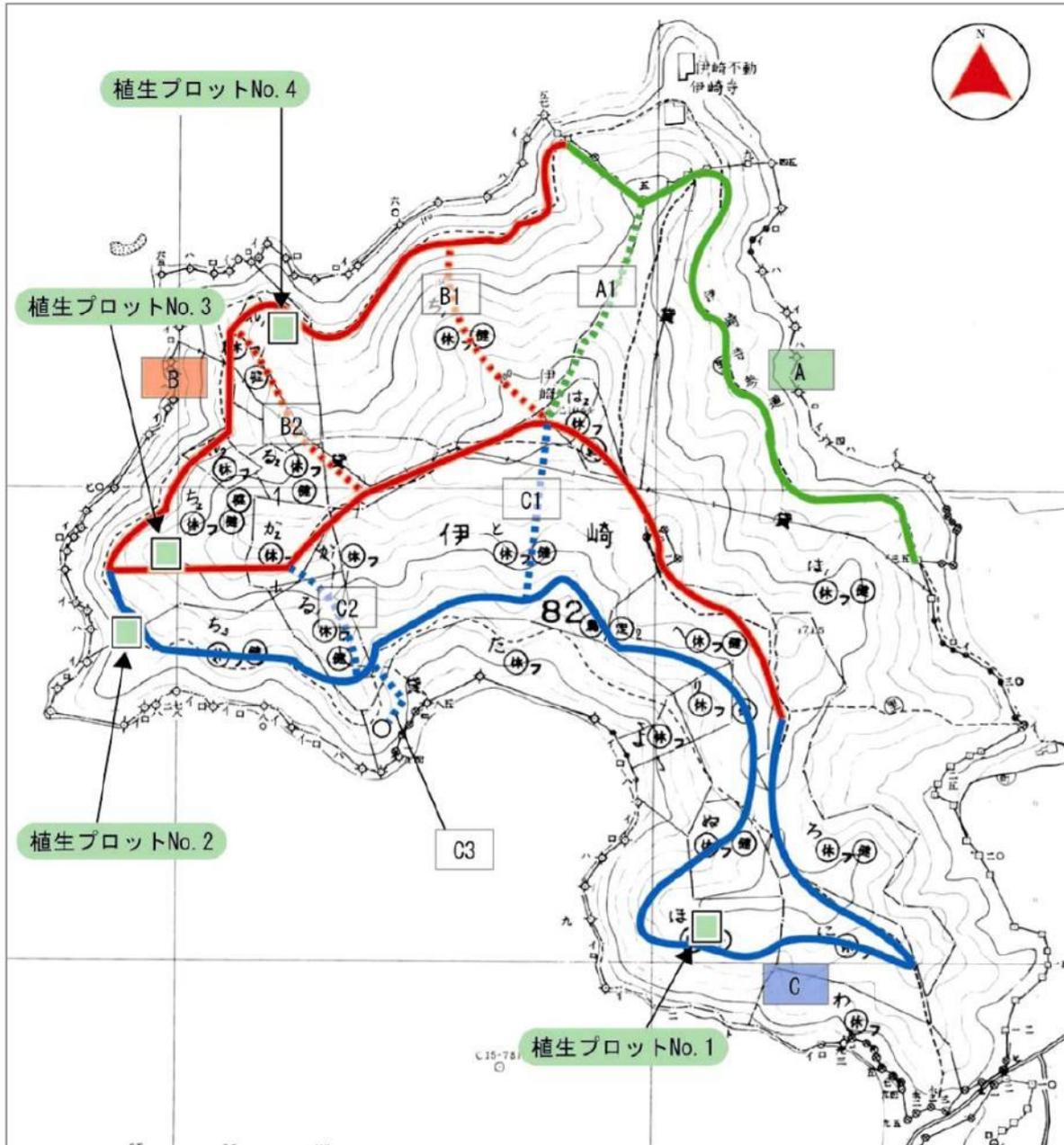


資 料

- 1 . 伊崎国有林における植生調査結果 (平成 23 年(2011 年)度、平成 24 年(2012 年)度) ・1
- 2 . ねぐら・コロニーシート (平成 24 年(2012 年)度) …… 15
- 3 . 採食地シート (平成 23 年(2011 年)度) …… 42

伊崎半島植生調査位置図 (平成 23 年(2011 年)度)



プロット No.	階層	平成 20 年度		平成 23 年度		
		優占種	植被率 (%)	優占種	植被率 (%)	その他の出現種
1	高木層	ヒノキ	100	ヒノキ	100	コナラ
	垂高木層	ヒメスリハ	10	ネジキ	20	ヒノキ、ソヨゴ、ネジキ、ユズリハ、ヒメスリハ、スタジイ、コバノミツハツツジ、リョウブ
	低木層	リョウブ	10	ヒメスリハ	10	ソヨゴ、アセビ、スタジイ、ヒメスリハ、アラカシ、カナメチ、コシアブラ、リョウブ、アカメカシ、ヤマウルシ、ヤブニッケイ、ネズミチ、クリ、イヌザンショウ、ヒサキ、ヒノキ、タノツメ
	草本層	コシダ	95	コシダ	80	カナメチ、コナラ、リョウブ
<p>ヒノキが多数生育しており、林内は暗い。植林地であるがヒノキのみではなく、広葉樹の低木も多く見られる。林床はシダ類が多い。20 年度と大きな変化はなかった。</p>						
						
No. 1 風景 (平成 20 年度)				No. 1 風景 (平成 23 年度)		
プロット No.	階層	平成 20 年度		平成 23 年度		
		優占種	植被率 (%)	優占種	植被率 (%)	その他の出現種
2	高木層	コナラ	50	コナラ	60	ヒノキ
	垂高木層	ヒサキ	15	ヒノキ	60	スタジイ、ヒサキ、リョウブ、サカキ、ヒメスリハ
	低木層	ヒメスリハ	10	コブシ	30	ヒサキ、カナメチ、ウワミスザクラ、ヒメスリハ、スタジイ、ヤブニッケイ、ヤブツバキ、サカキ、リョウブ、ヨウシュヤマゴボウ、コシキイチゴ、コブシ、ウラシロカシ
	草本層	サイコクベニシダ	70	ヒナタイノヅチ	50	サイコクベニシダ、チミザサ、ヒメスリハ、ヤブガラシ
<p>一部植栽等が施され部分的に明るく、低木層の構成種に変動がみられた。</p>						
						
No. 2 風景 (平成 20 年度)				No. 2 風景 (平成 23 年度)		

プロット No.	階層	平成 20 年度		平成 23 年度		
		優占種	植被率 (%)	優占種	植被率 (%)	その他の出現種
3	高木層	コナラ	10	コナラ	5	エノキ
	亜高木層	アカメガシワ	20	エノキ	20	アカメガシワ、ウラジロガシ、ヤブツバキ
	低木層	スタジイ	20	コブシ	50	コブシ、ヤブツバキ、エノキ、アカメガシワ、ヒメスリハ、アラカシ、ツツラジイ、シキミ、ヒサカキ、ウツミスガクラ、カメモチ、サカキ、アキ
	草本層	イシカワ	90	ヒナタイノコヅチ	60	ヒナタイノコヅチ、ヘクソカズラ、チヂミザサ、サイコクベニシダ、セイタカワタチソウ、キハノボトウ、アケビ

大規模な植栽が行われ高木層はほとんど生育していない。植栽したコブシ等を含む低木層が発達し、プロット全体に広がっていた。草本層ではヒナタイノコヅチが優占していた。



No. 3 風景 (平成 20 年度)



No. 3 風景 (平成 23 年度)

プロット No.	階層	平成 20 年度		平成 23 年度		
		優占種	植被率 (%)	優占種	植被率 (%)	その他の出現種
4	高木層	ヒノキ	100	ヒノキ	90	ヒノキ、ウラジロガシ、アラカシ、コナラ、シキミ、サカキ
	亜高木層	ヤブツバキ	50	ヤブツバキ	50	ヤブツバキ、サカキ、ヒサカキ、シキミ、ウラジロガシ
	低木層	ヤブツバキ	10	サカキ	15	サカキ、ヤブツバキ、シキミ、ヒサカキ
	草本層	サイコクベニシダ	30	サイコクベニシダ	30	サイコクベニシダ

ヒノキの枯損が数本新たに確認されたが、全体として大きな変化はなかった。

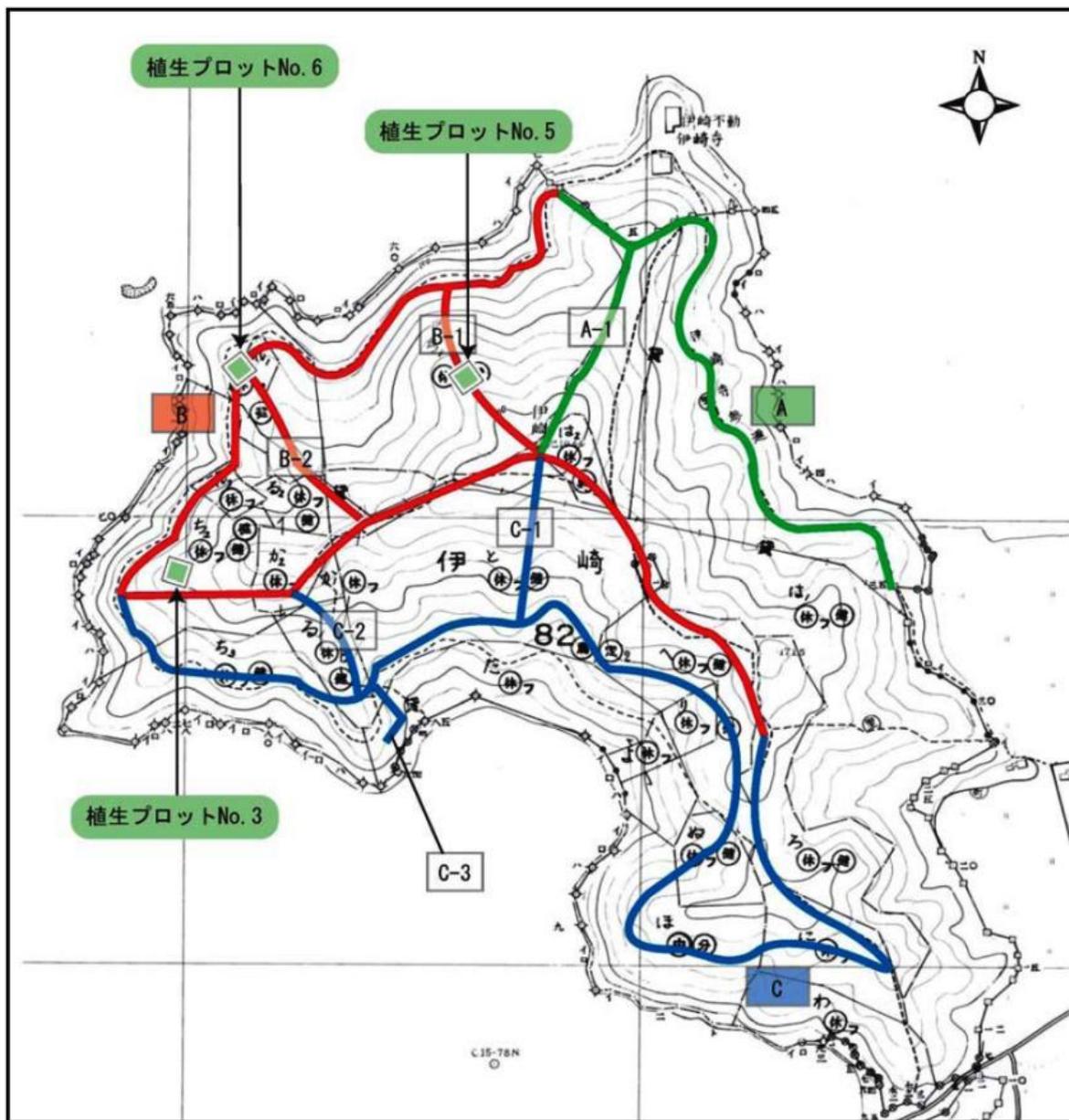


No. 4 風景 (平成 20 年度)



No. 4 風景 (平成 23 年度)

伊崎半島植生調査位置図 (平成24年(2012年)度)



植 生 調 査 票

調査区番号: No3 調査日: 2012/08/16 担当者: 浅野 樋口

林小班名: 伊崎国有林 調査区の座標 N 35° 11' 49.4" E 136° 05' 16.5" 日本測地系

標高: 155 m 斜面方位: W 傾斜角度: 26°

植生: 伐採植林地 地形: 斜面中腹 土壌: B₀

階層	優占種	高さ(m)	植被率(%)	階層	優占種	高さ(m)	植被率(%)
高木層	エノキ	12	5	低木層	コブシ	2.0	50
亜高木層	エノキ	6	20	草本層	ヒナタイノコヅチ	0.2	60

確認種

階層/No	種名	優占度	備考	倒木/伐根跡	種名	直径(cm)/数(本)	備考
草本層	ミツバアケビ	+		倒木	ヒノキ	15.6 cm	
草本層	イワヒメワラビ	+		倒木	不明	20.0 cm	
倒木/伐根跡	種名	直径(cm)/数(本)	備考	倒木	不明	15.0 cm	
伐根	不明	20.4 cm		倒木	不明	23.0 cm	
伐根	不明	27.0 cm		倒木	不明	15.5 cm	
伐根	不明	18.0 cm		倒木	不明	11.0 cm	
伐根	不明	30.5 cm		倒木	不明	13.0 cm	
伐根	不明	26.0 cm		倒木	不明	14.0 cm	
伐根	不明	30.5 cm		倒木	不明	20.0 cm	
伐根	不明	20.3 cm		倒木	不明	15.0 cm	
倒木	アカメガシワ	16.9 cm		倒木	不明	14.0 cm	
倒木	不明	9.0 cm		倒木	不明	20.2 cm	
倒木	不明	12.0 cm		倒木	不明	20.1 cm	
倒木	不明	15.0 cm		倒木	不明	23.3 cm	
倒木	不明	12.0 cm		倒木	不明	12.5 cm	
倒木	不明	18.0 cm		倒木	不明	27.0 cm	
倒木	不明	15.0 cm		倒木	不明	18.0 cm	
倒木	不明	15.0 cm		倒木	不明	28.0 cm	
倒木	不明	17.0 cm					
倒木	不明	16.0 cm					
倒木	不明	21.0 cm					
倒木	不明	23.0 cm					
倒木	不明	14.0 cm					
倒木	不明	13.0 cm					

[全体的な植生の状況]

植 生 調 査 票

調査区番号: No3 調査日: 2012/08/16 担当者: 浅野 樋口

林小班名: 伊崎国有林 調査区の座標 N 35° 11' 49.4" E 136° 05' 16.5" 日本測地系

標高: 155 m 斜面方位: W 傾斜角度: 26°

植生: 伐採植林地 地形: 斜面中腹 土壌: B_p

階層	優占種	高さ(m)	植被率(%)	階層	優占種	高さ(m)	植被率(%)
高木層	エノキ	12	5	低木層	コブシ	2.0	50
亜高木層	エノキ	6	20	草層	ヒナタイノコヅチ	0.2	60

確認種

階層/No	種名	直径(cm)/ 数(本)	備考	階層/No	種名	直径(cm)/ 数(本)	備考
高/111	コナラ	38.7 cm			株立ち	2.5 cm	
高/114	エノキ	28.7 cm		亜/113	アラカシ	12.5 cm	
高/116	エノキ	21.4 cm		低木層	コブシ	18 本	
亜/100	ヤブツバキ	11.9 cm		低木層	ヤブツバキ	9 本	
亜/101	ヤブツバキ	8.2 cm		低木層	ヒメユズリハ	9 本	
	枝分かれ	5.5 cm		低木層	アカメガシワ	7 本	
亜/102	コブシ	18.7 cm		低木層	アラカシ	5 本	
亜/103	エノキ	13.2 cm		低木層	エノキ	4 本	
亜/104	ウワミズザクラ	6.9 cm		低木層	スダジイ	3 本	
	株立ち	5.0 cm		低木層	ウワミズザクラ	3 本	
	株立ち	6.0 cm		低木層	ツブラジイ	2 本	
	株立ち	5.2 cm		低木層	サカキ	2 本	
	株立ち	3.5 cm		低木層	コナラ	1 本	
	株立ち	3.5 cm		低木層	クリ	1 本	
亜/105	シキミ	18.4 cm		低木層	シキミ	1 本	
	株立ち	4.3 cm		階層/No	種名	優占度	備考
亜/106	アカメガシワ	11.0 cm		草本層	ヒナタイノコヅチ	3	
亜/107	ウワミズザクラ	9.8 cm		草本層	サイゴクベニシダ	2	
亜/109	アカメガシワ	15.5 cm		草本層	セイトカアワダチソウ	1	
亜/110	アカメガシワ	5.8 cm		草本層	キレバノブドウ	1	
亜/112	エノキ	7.2 cm		草本層	チヂミザサ	1	
	株立ち	4.5 cm		草本層	ヘクソカズラ	+	
	株立ち	3.3 cm		草本層	カナムグラ	+	
	株立ち	2.4 cm		草本層	ノササゲ	+	
	株立ち	2.0 cm					

[全体的な植生の状況]

植生調査プロット定点写真

植生プロット No. 3



調査区内の状況（調査杭 No. 1 より撮影）



調査区内の状況（調査杭 No. 3 より撮影）



草本層用調査プロット内の状況

植 生 調 査 票

調査区番号: No5 調査日: 2012/08/16 担当者: 浅野 樋口

林小班名: 伊崎国有林 調査区の座標 N 35° 11' 57.0" E 136° 05' 28.1" 日測地系

標高: 181 m 斜面方位: NW 傾斜角度: 16°

植生: ヒノキ植林 地形: 斜面中腹 土壌: Bp

階層	優占種	高さ(m)	植被率(%)	階層	優占種	高さ(m)	植被率(%)
高木層	ヒノキ	22	10	低木層	ヤブツバキ	2.7	20
亜高木層	シキミ	9	80	草層	サイゴクベニシダ	0.8	70

確認種

階層/No	種名	直径(cm)/ 数(本)	備考	階層/No	種名	直径(cm)/ 数(本)	備考
高/1	シキミ	21.7 cm			株立ち	9.2 cm	
高/11	ヒノキ	66.9 cm	黄No.266	亜/13	シキミ	9.7 cm	
高/32	ヒノキ	33.5 cm	枯損		株立ち	10.9 cm	
高/34	シキミ	13.0 cm		亜/14	シキミ	9.4 cm	
高/35	ヒノキ	49.4 cm	黄No.270	亜/15	シキミ	8.6 cm	
	株立ち	11.8 cm	枯損	亜/16	シキミ	7.5 cm	
高/37	ヒノキ	52.3 cm		亜/17	シキミ	10.5 cm	
高/41	ヒノキ	61.9 cm			株立ち	8.0 cm	
高/52	サカキ	23.2 cm		亜/18	シキミ	7.5 cm	
高/53	クロバイ	16.2 cm		亜/19	シキミ	10.9 cm	
高/55	ヒノキ	25.1 cm		亜/20	シキミ	7.1 cm	
亜/2	シキミ	11.2 cm		亜/21	シキミ	5.4 cm	
亜/3	シキミ	13.4 cm		亜/22	シキミ	5.4 cm	
	株立ち	7.7 cm		亜/23	ヒノキ	58.7 cm	黄No.268
亜/4	シキミ	18.9 cm		亜/24	シキミ	7.4 cm	
	2股	11.1 cm		亜/25	シキミ	5.2 cm	
亜/5	シキミ	12.2 cm		亜/26	シキミ	9.6 cm	
	株立ち	9.7 cm		亜/27	シキミ	6.8 cm	
亜/6	シキミ	10.2 cm		亜/28	ヒノキ	62.4 cm	黄No.265
	株立ち	8.4 cm		亜/29	シキミ	10.3 cm	
亜/7	シキミ	9.8 cm		亜/30	シキミ	9.1 cm	
亜/8	シキミ	13.3 cm		亜/31	シキミ	8.3 cm	
亜/9	シキミ	12.2 cm		亜/33	シキミ	10.0 cm	
亜/10	シキミ	8.9 cm		亜/36	シキミ	12.7 cm	
亜/12	シキミ	10.3 cm		亜/38	シキミ	11.0 cm	

[全体的な植生の状況]

植 生 調 査 票

調査区番号: No5 調査日: 2012/08/16 担当者: 浅野 樋口

林小班名: 伊崎国有林 調査区の座標 N 35° 11' 57.0" E 136° 05' 28.1" 日測地系

標高: 181 m 斜面方位: NW 傾斜角度: 16°

植生: ヒノキ植林 地形: 斜面中腹 土壌: B_D

階層	優占種	高さ(m)	植被率(%)	階層	優占種	高さ(m)	植被率(%)
高木層	ヒノキ	22	10	低木層	ヤブツバキ	2.7	20
亜高木層	シキミ	9	80	草層	サイゴクベニシダ	0.8	70

確認種

階層/No	種名	直径(cm)/ 数(本)	備考	階層/No	種名	直径(cm)/ 数(本)	備考
亜/39	シキミ	10.9 cm		低木層	ヒイラギ	1 本	
亜/40	シキミ	11.8 cm		低木層	アカメガシワ	1 本	
亜/42	シキミ	9.5 cm		低木層	カキノキ	1 本	
亜/43	シキミ	9.1 cm		低木層	クサギ	1 本	
亜/44	シキミ	14.1 cm		階層/No	種名	優占度	備考
	株立ち	12.1 cm		草本層	サイゴクベニシダ	5	
	株立ち	12.0 cm		草本層	シキミ	1	
亜/45	シキミ	6.8 cm		草本層	ツタ	1	
	株立ち	6.0 cm		草本層	アカメガシワ	+	
亜/46	シキミ	7.3 cm		草本層	シラカシ	+	
亜/47	クロバイ	15.1 cm		倒木/ 伐根跡	種名	直径(cm)/ 数(本)	備考
亜/48	ネズミモチ	7.8 cm		倒木	不明	16.3	
	株立ち	6.9 cm		倒木	不明	21.4	
亜/49	ヒノキ	16.0 cm		倒木	ヒノキ	14.5	
亜/50	シキミ	10.8 cm		倒木	ヒノキ	13.4	
亜/51	シキミ	11.1 cm		倒木	ヒノキ	16.3	
亜/54	クロバイ	12.5 cm		倒木	ヒノキ	16.3	
低木層	シキミ	15 本					
低木層	ヤマザクラ	4 本					
低木層	リョウブ	3 本					
低木層	ヤブツバキ	2 本					
低木層	テツカエデ	1 本					
低木層	ユズリハ	1 本					
低木層	ヤマウルシ	1 本					
低木層	タラノキ	1 本					

[全体的な植生の状況]
草本プロット外にて、草本層にヤブニッケイ、ヨウシュヤマゴボウ、リョウブ有。

植生調査プロット定点写真

植生プロット No. 5



調査区内の状況（調査杭 No. 1 より撮影）



調査区内の状況（調査杭 No. 3 より撮影）



草本層用調査プロット内の状況

植 生 調 査 票

調査区番号: No6 調査日: 2012/08/16 担当者: 浅野 樋口

林小班名: 伊崎国有林 調査区の座標 N 35° 11' 57.7" E 136° 05' 19.3" 日測地系

標高: 136 m 斜面方位: NW 傾斜角度: 14°

植生: 落葉広葉樹林 地形: 斜面中腹 土壌: B₀

階層	優占種	高さ(m)	植被率(%)	階層	優占種	高さ(m)	植被率(%)
高木層	アカメガシワ	14	60	低木層	ヒノキ	2.0	30
亜高木層	アカメガシワ	6	70	草層	サイゴクベニシダ	0.7	60

確認種

階層/No	種名	直径(cm)/ 数(本)	備考	階層/No	種名	直径(cm)/ 数(本)	備考
高/57	リョウブ	20.7 cm			股	21.2 cm	
	株立ち	9.0 cm			股	25.3 cm	
	株立ち	5.1 cm			股	30.6 cm	
	株立ち	5.2 cm			股	11.3 cm	
高/58	アラカシ	26.8 cm		高/84	リョウブ	20.8 cm	
	株立ち	10.8 cm			株立ち	12.1 cm	
高/59	タカノツメ	19.8 cm			株立ち	11.2 cm	
高/61	リョウブ	13.9 cm			株立ち	12.7 cm	
	株立ち	13.9 cm			株立ち	4.7 cm	
	株立ち	6.2 cm			株立ち	3.3 cm	
	株立ち	6.2 cm			株立ち	11.8 cm	
	株立ち	3.6 cm		高/85	アカメガシワ	19.8 cm	
	株立ち	4.2 cm		高/87	アカメガシワ	14.5 cm	
	株立ち	3.4 cm		高/88	アカメガシワ	13.3 cm	
高/63	アカメガシワ	18.5 cm		高/91	アカメガシワ	14.4 cm	
高/64	アカメガシワ	28.7 cm		高/93	カスミザクラ	13.3 cm	
高/65	アカメガシワ	15.8 cm		高/94	ヒノキ	31.1 cm	
高/72	エノキ	7.8 cm		高/95	ヒメユズリハ	24.5 cm	
高/73	イヌザンショウ	15.6 cm		高/96	シキミ	27.7 cm	
高/75	ヤマザクラ	16.3 cm			株立ち	10.5 cm	
	2股	12.1 cm		高/97	リョウブ	18.7 cm	
高/77	アカメガシワ	19.3 cm		亜/60	カスミザクラ	5.3 cm	
	股	16.0 cm		亜/62	ヒノキ	7.6 cm	
	股	17.8 cm		亜/66	エノキ	5.4 cm	
高/83	ウワミズザクラ	35.2 cm			株立ち	3.3 cm	

[全体的な植生の状況]

植 生 調 査 票

調査区番号: No6 調査日: 2012/08/16 担当者: 浅野 樋口

林小班名: 伊崎国有林 調査区の座標 N 35° 11' 57.7" E 136° 05' 19.3" 日測地系

標高: 136 m 斜面方位: NW 傾斜角度: 14°

植生: 落葉広葉樹林 地形: 斜面中腹 土壌: B_D

階層	優占種	高さ(m)	植被率(%)	階層	優占種	高さ(m)	植被率(%)
高木層	アカメガシワ	14	60	低木層	ヒノキ	2.0	30
亜高木層	アカメガシワ	6	70	草層	サイゴクベニシダ	0.7	60

確認種

階層/No	種名	直径(cm)/ 数(本)	備考	階層/No	種名	直径(cm)/ 数(本)	備考
亜/67	カナメモチ	6.1 cm			枝分かれ	5.4 cm	
亜/68	エノキ	5.6 cm			枝分かれ	5.1 cm	
亜/69	エノキ	7.8 cm			枝分かれ	4.5 cm	
亜/70	エノキ	6.1 cm		亜/98	アカメガシワ	11.1 cm	
亜/71	ヤマザクラ	5.9 cm		亜/99	エノキ	6.8 cm	
亜/74	アカメガシワ	3.9 cm		低木層	ヒノキ	12 本	
亜/76	ヒノキ	9.0 cm		低木層	アカメガシワ	6 本	
亜/79	ヤマウルシ	8.2 cm		低木層	ヤマザクラ	3 本	
	股	4.1 cm		低木層	クリ	2 本	
亜/80	サカキ	12.0 cm		低木層	ヤブツバキ	2 本	
	2股	7.6 cm		低木層	カナメモチ	2 本	
	株立ち	3.4 cm		低木層	コナラ	1 本	
	株立ち	3.5 cm		低木層	イロハモミジ	1 本	
	株立ち	3.5 cm		低木層	ケヤキ	1 本	
	株立ち	4.9 cm		低木層	ヒメユズリハ	1 本	
	株立ち	7.9 cm		低木層	ヒサカキ	1 本	
	株立ち	3.9 cm					
亜/81	サカキ	16.4 cm					
	株立ち	8.9 cm					
	株立ちの2股	6.2 cm					
亜/82	アカメガシワ	6.1 cm					
亜/86	ヒノキ	6.1 cm					
亜/89	ヤマザクラ	6.4 cm					
亜/90	リョウブ	8.1 cm					
亜/92	ソヨゴ	5.5 cm					

[全体的な植生の状況]

植生調査プロット定点写真

植生プロット No. 6



調査区内の状況（調査杭 No. 1 より撮影）

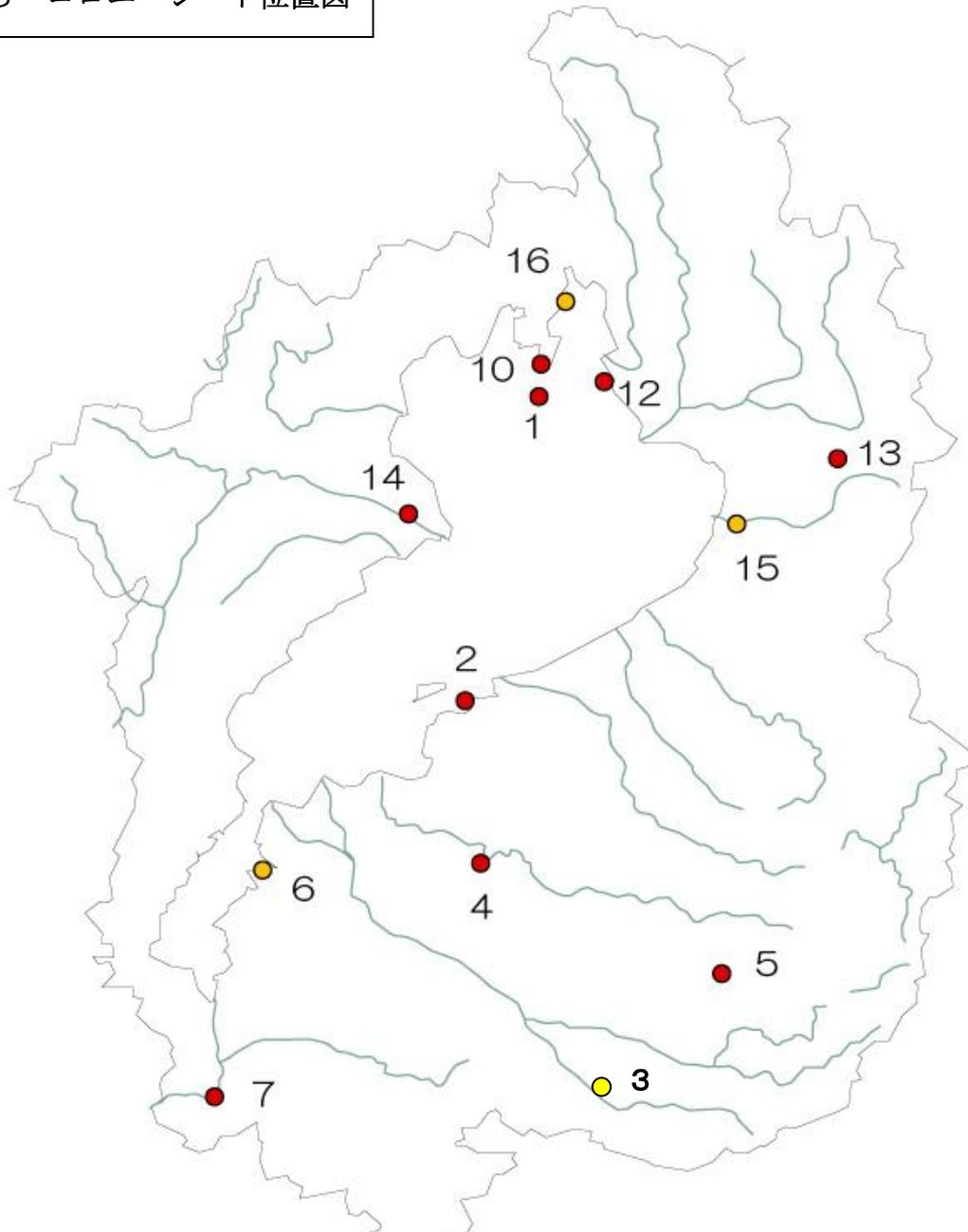


調査区内の状況（調査杭 No. 3 より撮影）



草本層用調査プロット内の状況

ねぐら・コロニーシート位置図



ID	名称	ID	名称
01	竹生島 琵琶湖内	10	葛籠尾崎
02	伊崎 琵琶湖岸	12	奥の洲
03	八王子池	13	三島池
04	西川池	14	安曇川
	鏡新池	15	天野川
05	大正池	16	月出
06	赤野井湾		
07	瀬田川鹿跳橋下流		
	外畑右岸コロニー		
	大石左岸冬ねぐら		

赤丸はねぐら、黄丸はコロニーを表す。

ねぐら・コロニー シート
名前

滋賀県
【 竹生島 】

ねぐら・コロニー番号 2501

記入者氏名	NPO法人バードリサーチ	記入年月日	2012年 9月 5日
記入者連絡先	住所 〒 電話 E-mail		
所在地	〒526-0124 滋賀県長浜市早崎町 竹生島		
生息地環境1	海・内湾・河口・河川下流・河川中流・河川上流・池・湖沼・ダム・その他(島)		
生息地環境2	公園緑地・雑木林・植林地・アシ原・草地・鉄塔・その他(天然林)		
生息地環境3	鳥獣保護区・休猟区・銃猟禁止区域・鉛散弾規制地域・都県立自然公園・国立(国定)公園・その他()		
施設管理者等	宝蔵寺・都久夫須麻神社	連絡先	
調査関係者	(株)イーグレットオフィス	連絡先	
	龍谷大学 須川 恒	連絡先	

地図



2012年7月営巣範囲



2012年7月撮影

カワウの生息状況

現在の状況 (<継続 ・ 消滅)	ねぐら成立 年	営巣開始 1982 年
	ねぐら期間 月 ~ 月	営巣期間 3月 ~ 9月

個体数・巣数の推移

2006年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個体数		26,762羽				33,876羽			4羽			
巣数		9,270巣				668巣						
2007年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個体数		23,158羽				29,137羽			0羽			
巣数												
2008年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個体数		29,665羽				58,547羽			1羽			
巣数												
2009年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個体数		25,171羽				14,972羽			0羽			
巣数												
2010年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個体数		14,155羽				10,333羽						196羽
巣数												13巣
2011年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個体数		1,015羽		8,461羽		4,526羽			0羽			11羽
巣数		130巣		615巣		195巣			133巣			48巣
2012年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個体数		2,115羽		1,457羽		5,399羽						
巣数		438巣		639巣		274巣						

生息地の状況

ねぐら利用可能樹林面積	123050 m ²	ねぐら利用面積	61525 m ² (2011年7月)
ねぐら利用場所	樹上・地上・構造物(鉄塔)	ねぐら利用樹種	
営巣利用場所	樹上・地上・構造物()	営巣利用樹種	タブノキ その他
樹木枯死面積	70000 m ²	樹高	なし・0~5m・5~10
樹種別枯死状況	S		

人との関係

苦情の有無	苦情有り・苦情なし・今後苦情でそう・不明	苦情の件数/年	0・1~10・11~100・100~・不明
苦情の出所	管理者・所有者・利用者(散歩の人・釣人)・近隣居住者・その他()		
苦情の内容	景観 騒音 その他()	におい 水質 糞の落下(自動車・洗濯物など)	樹木枯死 林業(材木・チップなど) 漁業

備考(周辺のねぐらなどの状況)

<p>2011年5月には巣のなかった北東斜面に、多くの巣を確認した。これらの多くは空巣であった。(2011年7月)</p> <p>・ブロック7に巣数が多かったのは、バンディング調査のために捕獲を実施しなかったためである。(2012年7月)</p>

実施事業

<p>調査項目</p> <p>個体数調査 営巣数調査 巣立ちヒナ数調査 帰還方向調査 標識調査 植生調査 水質調査 利用者の意識調査 吐出魚調査</p>	<p>調査実施概要</p> <p>2004年度から一年に2回(5月・9月)実施 2004年度から一年に2回(5月・9月)実施 2004年度からサンプリング調査を実施 2004年度から一年に2回(5月・9月)実施 2004年度からサンプリング調査を実施</p>
<p>対策項目</p> <p>生息場所制限 生息場所確保 樹木の枯死対策 水質の改善対策 臭いへの対策</p> <p>その他</p>	<p>対策実施概要</p> <p>1992年から巣落とし、爆音機設置、ロープ張り、人力による追い払い、銃器駆除などを実施</p>
<p>環境教育項目</p> <p>パンフレット 教材 室内展示 室外展示 観察会 講座 観察設備</p>	<p>実施概要</p>

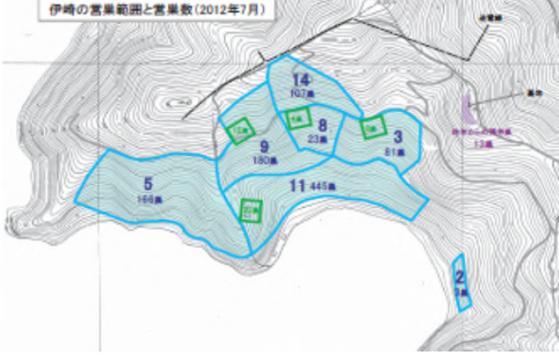
ねぐら・コロニー シート
名前

滋賀県
【伊崎】

ねぐら・コロニー番号 2502

記入者氏名	NPO法人バードリサーチ	記入年月日	2012年 9月 5日
記入者連絡先	住所 〒 電話	E-mail	
所在地	〒523-0801 滋賀県近江八幡市沖島町		
生息地環境1	海・内湾・河口・河川下流・河川中流・河川上流・池・湖沼・ダム・その他(半島)		
生息地環境2	公園緑地・雑木林・植林地・アシ原・草地・鉄塔・その他()		
生息地環境3	鳥獣保護区・休猟区・銃猟禁止区域・鉛散弾規制地域・都県立自然公園・国立(国定)公園・その他()		
施設管理者等	近畿中国森林管理局	連絡先	
調査関係者	(株)イーグレットオフィス	連絡先	
		連絡先	

地図



伊崎の営巣範囲と営巣数(2012年7月)

2012年7月利用範囲



2012年7月撮影

カワウの生息状況

現在の状況 (<継続 ・ 消滅)	ねぐら成立 ねぐら期間	年 月 ~ 月	営巣開始 営巣期間	年 月 ~ 月
--------------------	----------------	------------	--------------	------------

個体数・巣数の推移

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2006年度		7,804羽				9,020羽			30羽			
		4,044巣				866巣						
2007年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		11,047羽				7,884羽			505羽			
		4,425巣										
2008年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		7,401羽				16,141羽			573羽			
		3,939巣										
2009年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		6,892羽				14,996羽			469羽			
		3,859巣										
2010年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		8,414羽				13,602羽			257羽			2,341羽
		3,958巣										
2011年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		3,970羽		4,827羽		6,615羽			718羽			1,418羽
		2,195巣		993巣		634巣			172巣			569巣
2012年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		3,867羽		4,113羽		6,478羽						
		1,884巣		1,005巣		504巣						

昨シーズンから残存巣を除いた

生息地の状況

ねぐら利用可能樹林面積	159000 m ²	ねぐら利用面積	106000 m ² (2011年7月)
ねぐら利用場所	樹上・地上・構造物(鉄塔)	ねぐら利用樹種	
営巣利用場所	樹上・地上・構造物()	営巣利用樹種	タブノキ その他
樹木枯死面積	100000 m ²	樹高	なし・0~5m・5~10
樹種別枯死状況			

人との関係

苦情の有無	苦情有り・苦情なし・今後苦情でそう・不明	苦情の件数/年	0・1~10・11~100・100~・不明
苦情の出所	管理者・所有者・利用者(散歩の人・釣人)・近隣居住者・その他()		
苦情の内容	景観 騒音 その他()	におい 水質 樹木枯死 糞の落下(自動車・洗濯物など)	林業(材木・チップなど) 漁業

備考(周辺のねぐらなどの状況)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 2011年5月より巣数は減少し、残っている巣は多くは半壊状態。(2011年7月) ・ ブロック3,5,11,14の一部にヒナのいる巣があった。
--

実施事業

調査項目 個体数調査 営巣数調査 巣立ちヒナ数調査 帰還方向調査 標識調査 植生調査 水質調査 利用者の意識調査 吐出魚調査	調査実施概要 2004年度から一年に2回(5月・9月)実施 2004年度から一年に2回(5月・9月)実施 2004年度から一年に2回(5月・9月)実施 2004年度(12~3月)に実施
対策項目 生息場所制限 生息場所確保 樹木の枯死対策 水質の改善対策 臭いへの対策 その他	対策実施概要 2004年度から漁業被害対策として、銃器駆除を実施
環境教育項目 パンフレット 教材 室内展示 室外展示 観察会 講座 観察設備	実施概要

ねぐら・コロニー シート
名前

滋賀県
【 八王寺池 】

ねぐら・コロニー番号 2503

記入者氏名	NPO法人バードリサーチ	記入年月日	2011年 9月 5日
記入者連絡先	住所 〒 電話 E-mail		
所在地	〒520-3301 滋賀県甲賀市甲南町寺庄		
生息地環境1	海・内湾・河口・河川下流・河川中流・河川上流・池・湖沼・ダム・その他()		
生息地環境2	公園緑地・雑木林・植林地・アシ原・草地・鉄塔・その他(滋賀甲南カントリークラブ周辺)		
生息地環境3	鳥獣保護区・休猟区・銃猟禁止区域・鉛散弾規制地域・都県立自然公園・国立(国定)公園・その他()		
施設管理者等		連絡先	
調査関係者	柴野哲也	連絡先	
		連絡先	

地図

2011年5月撮影

カワウの生息状況

現在の状況 (継続 ・ 消滅)	ねぐら成立 ねぐら期間	年 月 ~ 月	営巣開始 営巣期間	年 月 ~ 月
-------------------	----------------	------------	--------------	------------

個体数・巣数の推移

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2006年度		85羽				10羽			40羽			
2007年度		52羽				6羽			18羽			
2008年度		66羽				0羽			0羽			
2009年度		0羽				0羽			17羽			
2010年度		0羽				0羽			0羽			
2011年度		0羽		0羽					0羽			
2012年度									0巣			

生息地の状況

ねぐら利用可能樹林面積	m ²	ねぐら利用面積	m ²
ねぐら利用場所	樹上・地上・構造物(鉄塔)	ねぐら利用樹種	
営巣利用場所	樹上・地上・構造物()	営巣利用樹種	タブノキ その他
樹木枯死面積	m ²	樹高	なし・0～5m・5～m
樹種別枯死状況			

人との関係

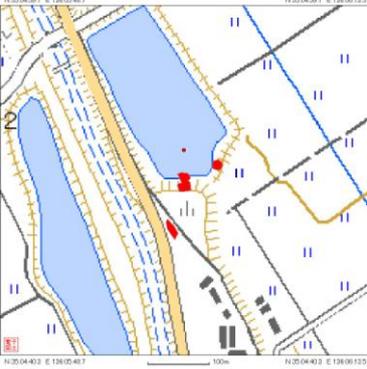
苦情の有無	苦情有り・苦情なし・今後苦情でそう・不明	苦情の件数/年	0・1～10・11～100・100～・不明
苦情の出所	管理者・所有者・利用者(散歩の人・釣人)・近隣居住者・その他()		
苦情の内容	景観 騒音 その他()	におい 水質 糞の落下(自動車・洗濯物など)	樹木枯死 林業(材木・チップなど) 漁業

備考(周辺のねぐらなどの状況)

隣接ゴルフ場の人からの情報で、有害捕獲もしてもらったが、八王子池にカワウの餌としていたブルーギルなどの外来魚がいなくなった。カワウもこなくなったとのこと。(2011年7月)
--

実施事業

調査項目 個体数調査 営巣数調査 巣立ちヒナ数調査 帰還方向調査 標識調査 植生調査 水質調査 利用者の意識調査 吐出魚調査	調査実施概要
対策項目 生息場所制限 生息場所確保 樹木の枯死対策 水質の改善対策 臭いへの対策 その他	対策実施概要
環境教育項目 パンフレット 教材 室内展示 室外展示 観察会 講座 観察設備	実施概要

ねぐら・コロニー シート 名前		滋賀県 【 西川池 】		ねぐら・コロニー番号 2504	
記入者氏名 NPO法人バードリサーチ			記入年月日 2012年 3月 5日		
記入者連絡先 住所 〒 電話 E-mail					
所在地 〒520-2572 滋賀県蒲生郡竜王町西川					
生息地環境1 海・内湾・河口・河川下流・河川中流・河川上流池・湖沼・ダム・その他()					
生息地環境2 公園緑地・雑木林・植林地・アシ原・草地・鉄塔・その他()					
生息地環境3 鳥獣保護区・休猟区・銃猟禁止区域・鉛散弾規制地域・都県立自然公園・国立(国定)公園・その他()					
施設管理者等			連絡先		
調査関係者 橋口岳史			連絡先		
			連絡先		
地図			写真		
					
2011年7月の営巣範囲			2011年12月撮影		

◆カワウの生息状況

現在の状況 (継続 (<u>消滅</u>))	ねぐら成立 ねぐら期間	年 月～	営巣開始 営巣期間	年 月～								
個体数・巣数の推移												
2006年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個体数						64羽			20羽			
巣数												
2007年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個体数		105羽				45羽			10羽			
巣数												
2008年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個体数		471羽				214羽			0羽			
巣数												
2009年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個体数		148羽				32羽			0羽			
巣数												
2010年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個体数		273羽				49羽			0羽			※76
巣数												
2011年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個体数		277羽		0羽		0羽			0羽			
巣数		79巣		44巣		57巣			1巣			
2012年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個体数												
巣数												

◆生息地の状況

ねぐら利用可能樹林面積	2310 m ²	ねぐら利用面積	1155 m ²
ねぐら利用場所	樹上・地上・構造物(鉄塔)	ねぐら利用樹種	
営巣利用場所	樹上・地上・構造物()	営巣利用樹種	タブノキ その他
樹木枯死面積	m ²	樹高	なし・0~5m・5~m
樹種別枯死状況			

◆人との関係

苦情の有無	苦情有り・苦情なし・今後苦情でそう・不明	苦情の件数/年	0・1~10・11~100・100~・不明
苦情の出所	管理者・所有者・利用者(散歩の人・釣人)・近隣居住者・その他()		
苦情の内容	景観 騒音 その他()	水質 木の落下(自動車・洗濯物など)	樹木枯死 林業(材木・チップなど) 漁業

◆備考(周辺のねぐらなどの状況)

<p>2011年3月には、道路を挟んだ隣にある鏡新池へ営巣を移していたが、5月には鏡新池のアカマツが伐採され、また西川池へ戻っていることが確認された。</p> <p>営巣木には巣はあったがカワウはとまっておらず、何らかの原因で多くが繁殖に失敗したのではないかと推察された。また、18:00にはカルガモ(48)、キンクロハジロ(1)、ダイサギ(1)、チュウサギ(1)が池で休息していた。(2011年7月)</p>

◆実施事業

<p>調査項目</p> <p>個体数調査 営巣数調査 巣立ちヒナ数調査 帰還方向調査 標識調査 植生調査 水質調査 利用者の意識調査 吐出魚調査</p>	<p>調査実施概要</p>
<p>対策項目</p> <p>生息場所制限 生息場所確保 樹木の枯死対策 水質の改善対策 臭いへの対策</p> <p>その他</p>	<p>対策実施概要</p>
<p>環境教育項目</p> <p>パンフレット 教材 室内展示 室外展示 観察会 講座 観察設備</p>	<p>実施概要</p>

ねぐら・コロニー シート
名前

滋賀県
【 大正池 】

ねぐら・コロニー番号 2505

記入者氏名 NPO法人バードリサーチ 記入年月日 2012年 9月 5日

記入者連絡先 住所 〒 電話 E-mail

所在地 〒529-1628 滋賀県蒲生郡日野町西大路

生息地環境1 海・内湾・河口・河川下流・河川中流・河川上流・池・湖沼・ダム・その他()

生息地環境2 公園緑地・雑木林・植林地・アシ原・草地・鉄塔・その他()

生息地環境3 鳥獣保護区・休猟区・銃猟禁止区域・鉛散弾規制地域・都県立自然公園・国立(国定)公園・その他()

施設管理者等 連絡先

調査関係者 (株)イーグレット・オフィス 連絡先

連絡先

地図 写真



2012年7月営巣範囲



2012年7月撮影

カワウの生息状況

現在の状況 (<input checked="" type="radio"/> 継続 · <input type="radio"/> 消滅)	ねぐら成立年	営巣開始年
	ねぐら期間 月~ 月	営巣期間 月~ 月

個体数・巣数の推移

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2006年度						69羽			0羽			
2007年度												
2008年度												
2009年度												
2010年度												
2011年度												
2012年度												

生息地の状況

ねぐら利用可能樹林面積	5825 m ²	ねぐら利用面積	2330 m ²
ねぐら利用場所	樹上・地上・構造物(鉄塔)	ねぐら利用樹種	
営巣利用場所	樹上・地上・構造物()	営巣利用樹種	タブノキ その他
樹木枯死面積	m ²	樹高	なし・0～5m・5～m
樹種別枯死状況			

人との関係

苦情の有無	苦情有り・苦情なし・今後苦情でそう・不明	苦情の件数/年	0・1～10・11～100・100～・不明
苦情の出所	管理者・所有者・利用者(散歩の人・釣人)・近隣居住者・その他(日野町漁協)		
苦情の内容	景観 騒音 その他()	におい 水質 糞の落下(自動車・洗濯物など)	樹木枯死 林業(材木・チップなど) 漁業

備考(周辺のねぐらなどの状況)

<ul style="list-style-type: none"> ・ コロニー周辺部でアオサギが営巣していた。 ・ コロニーの出入りが把握しにくい地形のため、個体数カウントは同年5月の調査と同様、遅い時間帯(18:00～18:20)にコロニー内カワウを数える方法で実施。(2011年7月) ・ 営巣範囲は、2011年7月よりも拡大したが、左岸側では2012年5月よりも縮小していた。(2012年7月)

実施事業

調査項目 個体数調査 営巣数調査 巣立ちヒナ数調査 帰還方向調査 標識調査 植生調査 水質調査 利用者の意識調査 吐出魚調査	調査実施概要
対策項目 生息場所制限 生息場所確保 樹木の枯死対策 水質の改善対策 臭いへの対策 その他	対策実施概要 2004年度は銃器駆除を実施 2011、2012年度は銃器駆除を実施(町事業(水産課補助事業))
環境教育項目 パンフレット 教材 室内展示 室外展示 観察会 講座 観察設備	実施概要

ねぐら・コロニー シート 名前		滋賀県 【 赤野井湾 】		ねぐら・コロニー番号 2506	
記入者氏名 NPO法人バードリサーチ			記入年月日 2012年 9月 20日		
記入者連絡先		住所 〒		E-mail	
		電話			
所在地 〒					
生息地環境1 海・内湾・河口・河川下流・河川中流・河川上流(池・湖沼・ダム・その他())					
生息地環境2 公園緑地・雑木林・植林地・アシ原・草地・鉄塔・その他(真珠の養殖棚)					
生息地環境3 鳥獣保護区・休猟区・銃猟禁止区域・鉛散弾規制地域・都県立自然公園・国立(国定)公園・その他()					
施設管理者等			連絡先		
調査関係者			連絡先		
			連絡先		
地図			写真		
					
			2012年5月撮影		

カワウの生息状況

現在の状況 (<u>継続</u> ・ 消滅)	ねぐら成立 年	営巣開始 年
	ねぐら期間 月~ 月	営巣期間 月~ 月

個体数・巣数の推移

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2006年度												
個体数												
巣数												
2007年度												
個体数												
巣数												
2008年度												
個体数												
巣数												
2009年度												
個体数												
巣数												
2010年度												
個体数												
巣数												
2011年度												
個体数					0羽	18羽			159羽			2羽
巣数					0巣	0巣			0巣			0巣
2012年度												
個体数		0羽		0羽								
巣数		0巣		0巣								

生息地の状況

ねぐら利用可能樹林面積	m ²	ねぐら利用面積	m ²
ねぐら利用場所	樹上・地上・構造物(鉄塔)	ねぐら利用樹種	
営巣利用場所	樹上・地上・構造物()	営巣利用樹種	タブノキ その他
樹木枯死面積	m ²	樹高	なし・0～5m・5～m
樹種別枯死状況			

人との関係

苦情の有無	苦情有り・苦情なし・今後苦情でそう・不明	苦情の件数/年	0・1～10・11～100・100～・不明
苦情の出所	管理者・所有者・利用者(散歩の人・釣人)・近隣居住者・その他()		
苦情の内容	景観 騒音 その他()	におい 水質 糞の落下(自動車・洗濯物など)	樹木枯死 林業(材木・チップなど) 漁業

備考(周辺のねぐらなどの状況)

<p>真珠の養殖棚を使ったねぐら 秋から冬にかけてのみの利用である。</p>
--

実施事業

<p>調査項目 個体数調査 営巣数調査 巣立ちヒナ数調査 帰還方向調査 標識調査 植生調査 水質調査 利用者の意識調査 吐出魚調査</p>	<p>調査実施概要</p>
<p>対策項目 生息場所制限 生息場所確保 樹木の枯死対策 水質の改善対策 臭いへの対策</p> <p>その他</p>	<p>対策実施概要</p>
<p>環境教育項目 パンフレット 教材 室内展示 室外展示 観察会 講座 観察設備</p>	<p>実施概要</p>

ねぐら・コロニー シート
名前

滋賀県
【 瀬田川鹿跳橋下流 】

ねぐら・コロニー番号 2507

記入者氏名 NPO法人バードリサーチ 記入年月日 2011 年 9月 5日

記入者連絡先 住所 〒 電話 E-mail

所在地 〒520-2262 滋賀県大津市大石淀

生息地環境1 海・内湾・河口・河川下流・河川中流・河川上流・池・湖沼・ダム・その他()

生息地環境2 公園緑地・雑木林・植林地・アシ原・草地・鉄塔・その他()

生息地環境3 鳥獣保護区・休猟区・銃猟禁止区域・鉛散弾規制地域・都県立自然公園・国立(国定)公園・その他()

施設管理者等 連絡先

調査関係者 (株)イーグレット・オフィス 連絡先

連絡先

写真

地図

2012年7月利用範囲

2012年8月撮影

カワウの生息状況

現在の状況 (<u>継続</u> ・ 消滅)	ねぐら成立年	営巣開始年
	ねぐら期間 月~ 月	営巣期間 月~ 月

個体数・巣数の推移

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2006年度												
個体数												
巣数												
2007年度												
個体数												
巣数												
2008年度												
個体数												
巣数												
2009年度												
個体数		171羽				48羽			226羽			
巣数												
2010年度												
個体数		172羽				28羽			270羽			558羽
巣数												
2011年度												
個体数		257羽		315羽		183羽			377羽			302羽
巣数		117巣		74巣		44巣			74巣			124巣
2012年度												
個体数		344羽			446羽	320羽						
巣数		147巣			23巣	25巣						

生息地の状況

ねぐら利用可能樹林面積	27642.5 m ²	ねぐら利用面積	5745 m ² (2011年7月)
ねぐら利用場所	樹上・地上・構造物(鉄塔)	ねぐら利用樹種	
営巣利用場所	樹上・地上・構造物()	営巣利用樹種	タブノキ その他
樹木枯死面積	m ²	樹高	なし・0～5m・5～m
樹種別枯死状況			

人との関係

苦情の有無	苦情有り・苦情なし・今後苦情でそう・不明	苦情の件数/年	0・1～10・11～100・100～・不明
苦情の出所	管理者・所有者・利用者(散歩の人・釣人)・近隣居住者・その他(勢多川漁協)		
苦情の内容	景観 騒音 その他()	におい 水質 糞の落下(自動車・洗濯物など)	樹木枯死 林業(材木・チップなど) 漁業

備考(周辺のねぐらなどの状況)

<ul style="list-style-type: none"> 左岸のねぐらでは上流方向からねぐら入りする個体が多かった。 左岸のねぐらの樹林は、主に落葉広葉樹林で、一部スギ林が含まれていた。(2011年7月) 漁協が花火を用いて追い出しをおこなったという情報がある。 左岸のねぐらで初めて営巣が認められた。

実施事業

調査項目 個体数調査 営巣数調査 巣立ちヒナ数調査 帰還方向調査 標識調査 植生調査 水質調査 利用者の意識調査 吐出魚調査	調査実施概要
対策項目 生息場所制限 生息場所確保 樹木の枯死対策 水質の改善対策 臭いへの対策 その他	対策実施概要
環境教育項目 パンフレット 教材 室内展示 室外展示 観察会 講座 観察設備	実施概要

ねぐら・コロニー シート
名前

滋賀県
【 葛籠尾崎 】

ねぐら・コロニー番号 2510

記入者氏名	NPO法人バードリサーチ	記入年月日	2012年 9月 5日
記入者連絡先	住所 〒 電話 E-mail		
所在地	〒520-2262 滋賀県大津市大石淀		
生息地環境1	海・内湾・河口・河川下流・河川中流・河川上流・池・湖沼・ダム・その他()		
生息地環境2	公園緑地・雑木林・植林地・アシ原・草地・鉄塔・その他()		
生息地環境3	鳥獣保護区・休猟区・銃猟禁止区域・鉛散弾規制地域・都県立自然公園・国立(国定)公園その他()		
施設管理者等		連絡先	
調査関係者	須藤明子	連絡先	
		連絡先	

地図	<p>2011年5月営巣範囲</p> <p>2011年7月営巣範囲</p>	<p>2011年12月撮影</p>
----	---------------------------------------	-------------------

カワウの生息状況

現在の状況 (継続 ・ <u>消滅</u>)	ねぐら成立	年	営巣開始	年
	ねぐら期間	月~ 月	営巣期間	月~ 月

個体数・巣数の推移

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2006年度												
個体数												
巣数												
2007年度												
個体数												
巣数												
2008年度												
個体数												
巣数												
2009年度												
個体数												
巣数												
2010年度												
個体数						3,267羽						1,704羽
巣数												363巣
2011年度												
個体数		7,430羽		446羽		4羽			0羽			0羽
巣数		2,833巣		603巣		456巣			591巣			788巣
2012年度												
個体数		2,183羽		0羽		0羽						
巣数		548巣										

生息地の状況

ねぐら利用可能樹林面積	977000 m ²	ねぐら利用面積	195400 m ² (2011年7月)
ねぐら利用場所	樹上・地上・構造物(鉄塔)	ねぐら利用樹種	
営巣利用場所	樹上・地上・構造物()	営巣利用樹種	タブノキ その他
樹木枯死面積	m ²	樹高	なし・0～5m・5～m
樹種別枯死状況			

人との関係

苦情の有無	苦情有り・苦情なし・今後苦情でそう・不明	苦情の件数/年	0・1～10・11～100・100～・不明
苦情の出所	管理者・所有者・利用者(散歩の人・釣人)・近隣居住者・その他()		
苦情の内容	景観 騒音 その他()	におい 水質 糞の落下(自動車・洗濯物など)	樹木枯死 林業(材木・チップなど) 漁業

備考(周辺のねぐらなどの状況)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 2011年5月より巣数は減少し、残っている巣は多くが半壊状態。(2011年7月) ・ 2012年5月17、21、28、31日に実施された個体数調整事業により、コロニー消滅(2012年7月)

実施事業

調査項目 個体数調査 営巣数調査 巣立ちヒナ数調査 帰還方向調査 標識調査 植生調査 水質調査 利用者の意識調査 吐出魚調査	調査実施概要
対策項目 生息場所制限 生息場所確保 樹木の枯死対策 水質の改善対策 臭いへの対策 その他	対策実施概要 2010～2012年度は銃器駆除を実施
環境教育項目 パンフレット 教材 室内展示 室外展示 観察会 講座 観察設備	実施概要

ねぐら・コロニー シート
名前

滋賀県
【奥の洲】

ねぐら・コロニー番号 2512

記入者氏名	NPO法人バードリサーチ	記入年月日	2012年 9月 13日
記入者連絡先	住所 〒 電話 E-mail		
所在地	〒 滋賀県長浜市		
生息地環境1	海・内湾・河口・河川下流・河川中流・河川上流・池・湖沼・ダム・その他()		
生息地環境2	公園緑地・雑木林・植林地・アシ原・草地・鉄塔・その他()		
生息地環境3	鳥獣保護区・休猟区・銃猟禁止区域・鉛散弾規制地域・都県立自然公園・国立(国定)公園・その他()		
施設管理者等	連絡先		
調査関係者	連絡先		
	連絡先		
地図	写真		



2012年7月利用範囲



2012年7月撮影

カワウの生息状況

現在の状況 (<u>継続</u> ・ 消滅)	ねぐら成立 ねぐら期間	年 月 ~ 月	営巣開始 営巣期間	2011 年 月 ~ 月
--------------------------	----------------	------------	--------------	-----------------

個体数・巣数の推移

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2006年度												
個体数												
巣数												
2007年度												
個体数												
巣数												
2008年度												
個体数												
巣数												
2009年度												
個体数												
巣数												
2010年度												
個体数												
巣数												
2011年度												
個体数		632羽			519羽	402羽			216羽			1,512羽
巣数		265巣			56巣	68巣			174巣			228巣
2012年度												
個体数		1,484羽		3,729羽		0羽						
巣数		1,026巣		498巣		148巣						

生息地の状況

ねぐら利用可能樹林面積	17250 m ²	ねぐら利用面積	6900 m ² (2011年8月)
ねぐら利用場所	樹上・地上・構造物(鉄塔)	ねぐら利用樹種	
営巣利用場所	樹上・地上・構造物()	営巣利用樹種	タブノキ その他
樹木枯死面積	m ²	樹高	なし・0～5m・5～m
樹種別枯死状況			

人との関係

苦情の有無	苦情有り・苦情なし・今後苦情でそう・不明	苦情の件数/年	0・1～10・11～100・100～・不明
苦情の出所	管理者・所有者・利用者(散歩の人・釣人)・近隣居住者・その他()		
苦情の内容	景観 騒音 その他()	におい 水質 糞の落下(自動車・洗濯物など)	樹木枯死 林業(材木・チップなど) 漁業

備考(周辺のねぐらなどの状況)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 観察地点からコロニーの西面が見えないため、営巣数、個体数とともに過小評価されている可能性がある。2011年7月も、同年5月調査と同様に、3か所の砂州の落葉広葉樹に巣を確認した。(2011年7月) ・ 竹生島と葛籠尾でおこなわれた事業の影響か、昨年と比べると大幅に生息数も営巣数も増加した。(2012年7月)
--

実施事業

調査項目 個体数調査 営巣数調査 巣立ちヒナ数調査 帰還方向調査 標識調査 植生調査 水質調査 利用者の意識調査 吐出魚調査	調査実施概要
対策項目 生息場所制限 生息場所確保 樹木の枯死対策 水質の改善対策 臭いへの対策 その他	対策実施概要
環境教育項目 パンフレット 教材 室内展示 室外展示 観察会 講座 観察設備	実施概要

ねぐら・コロニー シート		滋賀県	ねぐら・コロニー番号 2513
名前		【 三島池 】	
記入者氏名	NPO法人バードリサーチ	記入年月日	2011 年 5月 24日
記入者連絡先	住所 〒 電話 E-mail		
所在地	〒		
生息地環境1	海・内湾・河口・河川下流・河川中流・河川上流・池・湖沼・ダム・その他()		
生息地環境2	公園緑地・雑木林・植林地・アシ原・草地・鉄塔・その他()		
生息地環境3	鳥獣保護区・休猟区・銃猟禁止区域・鉛散弾規制地域・都県立自然公園・国立(国定)公園・その他()		
施設管理者等	連絡先		
調査関係者	(株)イーグレット・オフィス	連絡先	
		連絡先	
		写真	
地図			
			
2012年7月利用範囲		2012年7月撮影	

カワウの生息状況

現在の状況 (<input checked="" type="radio"/> 継続 · <input type="radio"/> 消滅)	ねぐら成立 年	営巣開始 2012 年
	ねぐら期間 月 ~ 月	営巣期間 月 ~ 月

個体数・巣数の推移

2011年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個体数												21羽
巣数												4巣
2012年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個体数		22羽		14羽		21羽						
巣数		5巣		2巣		2巣						
2013年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個体数												
巣数												
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個体数												
巣数												
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個体数												
巣数												
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個体数												
巣数												

生息地の状況

ねぐら利用可能樹林面積	m ²	ねぐら利用面積	m ²
ねぐら利用場所	樹上・地上・構造物(鉄塔)	ねぐら利用樹種	
営巣利用場所	樹上・地上・構造物()	営巣利用樹種	タブノキ その他
樹木枯死面積	m ²	樹高	なし・0～5m・5～m
樹種別枯死状況			

人との関係

苦情の有無	苦情有り・苦情なし・今後苦情でそう・不明	苦情の件数/年	0・1～10・11～100・100～・不明
苦情の出所	管理者・所有者・利用者(散歩の人・釣人)・近隣居住者・その他()		
苦情の内容	景観 騒音 その他()	におい 水質 糞の落下(自動車・洗濯物など)	樹木枯死 林業(材木・チップなど) 漁業

備考(周辺のねぐらなどの状況)

--

実施事業

調査項目 個体数調査 営巣数調査 巣立ちヒナ数調査 帰還方向調査 標識調査 植生調査 水質調査 利用者の意識調査 吐出魚調査	調査実施概要
対策項目 生息場所制限 生息場所確保 樹木の枯死対策 水質の改善対策 臭いへの対策 その他	対策実施概要
環境教育項目 パンフレット 教材 室内展示 室外展示 観察会 講座 観察設備	実施概要

ねぐら・コロニー シート
名前

滋賀県
【安曇川】

ねぐら・コロニー番号 2514

記入者氏名 NPO法人バードリサーチ 記入年月日 2012年8月27日

記入者連絡先 住所 〒 電話 E-mail

所在地 〒

生息地環境1 海・内湾・河口・河川下流・河川中流・河川上流・池・湖沼・ダム・その他()

生息地環境2 公園緑地・雑木林・植林地・アシ原・草地・鉄塔・その他()

生息地環境3 鳥獣保護区・休猟区・銃猟禁止区域・鉛散弾規制地域・都県立自然公園・国立(国定)公園・その他()

施設管理者等 連絡先

調査関係者 (株)イーグレット・オフィス 連絡先

連絡先

写真

地図



2012年7月利用範囲



2012年7月撮影

カワウの生息状況

現在の状況 (<input checked="" type="radio"/> 継続 · <input type="radio"/> 消滅)	ねぐら成立 年	営巣開始 2012 年
	ねぐら期間 月~ 月	営巣期間 月~ 月

個体数・巣数の推移

2012年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個体数				173羽		0羽						
巣数				11巣		0巣						
2013年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個体数												
巣数												
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個体数												
巣数												
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個体数												
巣数												
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個体数												
巣数												
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個体数												
巣数												

生息地の状況

ねぐら利用可能樹林面積	m ²	ねぐら利用面積	m ²
ねぐら利用場所	樹上・地上・構造物(鉄塔)	ねぐら利用樹種	
営巣利用場所	樹上・地上・構造物()	営巣利用樹種	タブノキ その他
樹木枯死面積	m ²	樹高	なし・0～5m・5～m
樹種別枯死状況			

人との関係

苦情の有無	苦情有 [○] ・苦情なし・今後苦情でそう・不明	苦情の件数/年	0・1～10 [○] ・11～100・100～・不明
苦情の出所	管理者・所有者・利用者(散歩の人・釣人)・近隣居住者	その他	(廣瀬漁協、北舟木漁協)
苦情の内容	景観 騒音 その他()	におい 水質 糞の落下(自動車・洗濯物など)	樹木枯死 林業(材木・チップなど) 漁業 [○]

備考(周辺のねぐらなどの状況)

<ul style="list-style-type: none"> 河川沿いの落葉広葉樹と竹林に、約1kmにわたってねぐら箇所が散在しており、日によってねぐら場所を変えているようだ
--

実施事業

調査項目 個体数調査 営巣数調査 巣立ちヒナ数調査 帰還方向調査 標識調査 植生調査 水質調査 利用者の意識調査 吐出魚調査	調査実施概要
対策項目 生息場所制限 生息場所確保 樹木の枯死対策 水質の改善対策 臭いへの対策 その他	対策実施概要 2012年度は銃器駆除実施(市事業(水産課補助事業)とボランティア)
環境教育項目 パンフレット 教材 室内展示 室外展示 観察会 講座 観察設備	実施概要

ねぐら・コロニー シート		滋賀県		ねぐら・コロニー番号 2515	
名前		【天野川】			
記入者氏名 NPO法人バードリサーチ			記入年月日 2012年 9月 20日		
記入者連絡先		住所 〒		E-mail	
		電話			
所在地		〒			
生息地環境1		海・内湾・河口・河川下流・河川中流・河川上流・池・湖沼・ダム・その他()			
生息地環境2		公園緑地・雑木林・植林地・アシ原・草地・鉄塔・その他()			
生息地環境3		鳥獣保護区・休猟区・銃猟禁止区域・鉛散弾規制地域・都県立自然公園・国立(国定)公園・その他()			
施設管理者等		連絡先			
調査関係者 (株)イーグレット・オフィス		連絡先			
		連絡先			
地図		写真			
					
2012年8月利用範囲		2012年8月撮影			

◆カワウの生息状況

現在の状況 (<input checked="" type="radio"/> 継続 ・ <input type="radio"/> 消滅)	ねぐら成: 2012 年	営巣開始 年
	ねぐら期間 月~ 月	営巣期間 月~ 月

個体数・巣数の推移

2012年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個体数					24羽	92羽						
巣数					0巣	0巣						
2013年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個体数												
巣数												
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個体数												
巣数												
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個体数												
巣数												
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個体数												
巣数												
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個体数												
巣数												

◆生息地の状況

ねぐら利用可能樹林面積	m ²	ねぐら利用面積	m ²
ねぐら利用場所	樹上・地上・構造物(鉄塔)	ねぐら利用樹種	
営巣利用場所	樹上・地上・構造物()	営巣利用樹種	タブノキ その他
樹木枯死面積	m ²	樹高	なし・0~5m・5~m
樹種別枯死状況			

◆人との関係

苦情の有無	苦情有り・苦情なし・今後苦情でそう・不明	苦情の件数/年	0・1~10・11~100・100~・不明
苦情の出所	管理者・所有者・利用者(散歩の人・釣人)・近隣居住者・その他()		
苦情の内容	景観 騒音 その他()	におい 水質 糞の落下(自動車・洗濯物など)	樹木枯死 林業(材木・チップなど) 漁業

◆備考(周辺のねぐらなどの状況)

<ul style="list-style-type: none"> ダイサギ、チュウサギ、コサギ、アマサギなど150羽ほどのサギ類が一緒にねぐらをとっている。

◆実施事業

調査項目 個体数調査 営巣数調査 巣立ちヒナ数調査 帰還方向調査 標識調査 植生調査 水質調査 利用者の意識調査 吐出魚調査	調査実施概要
対策項目 生息場所制限 生息場所確保 樹木の枯死対策 水質の改善対策 臭いへの対策 その他	対策実施概要
環境教育項目 パンフレット 教材 室内展示 室外展示 観察会 講座 観察設備	実施概要

ねぐら・コロニーシート 名前		滋賀県 【月出】		ねぐら・コロニー番号 2516	
記入者氏名 NPO法人バードリサーチ			記入年月日 2012年 9月 日		
記入者連絡先		住所 〒		E-mail	
		電話			
所在地		〒			
生息地環境1		海・内湾・河口・河川下流・河川中流・河川上流・池・湖沼・ダム・その他()			
生息地環境2		公園緑地・雑木林・植林地・アシ原・草地・鉄塔・その他()			
生息地環境3		鳥獣保護区・休猟区・銃猟禁止区域・鉛散弾規制地域・都県立自然公園・国立(国定)公園・その他()			
施設管理者等		連絡先			
調査関係者		連絡先			
		連絡先			
地図		写真			

カワウの生息状況

現在の状況 (継続 ・ 消滅)	ねぐら成立 ねぐら期間	年 月 ~ 月	営巣開始 営巣期間	年 月 ~ 月								
個体数・巣数の推移												
2011年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個体数						8羽						
巣数						0巣						
2012年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個体数						45羽						
巣数						0巣						
2013年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個体数												
巣数												
2014年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個体数												
巣数												
2015年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個体数												
巣数												
2016年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個体数												
巣数												
2017年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個体数												
巣数												
枠内が灰色のデータは、昼間の観察による												

生息地の状況

ねぐら利用可能樹林面積	m ²	ねぐら利用面積	m ²
ねぐら利用場所	樹上・地上・構造物(鉄塔)	ねぐら利用樹種	
営巣利用場所	樹上・地上・構造物()	営巣利用樹種	タブノキ その他
樹木枯死面積	m ²	樹高	なし・0～5m・5～m
樹種別枯死状況			

人との関係

苦情の有無	苦情有り・苦情なし・今後苦情でそう・不明	苦情の件数/年	0・1～10・11～100・100～・不明
苦情の出所	管理者・所有者・利用者(散歩の人・釣人)・近隣居住者・その他()		
苦情の内容	景観 騒音 その他()	におい 水質 糞の落下(自動車・洗濯物など)	樹木枯死 林業(材木・チップなど) 漁業

備考(周辺のねぐらなどの状況)

--

実施事業

調査項目 個体数調査 営巣数調査 巣立ちヒナ数調査 帰還方向調査 標識調査 植生調査 水質調査 利用者の意識調査 吐出魚調査	調査実施概要
対策項目 生息場所制限 生息場所確保 樹木の枯死対策 水質の改善対策 臭いへの対策 その他	対策実施概要
環境教育項目 パンフレット 教材 室内展示 室外展示 観察会 講座 観察設備	実施概要

沿湖漁業協同組合

名称	所在地
堅田漁業協同組合	大津市本堅田 2 丁目 13-13
大津漁業協同組合	大津市下阪本 6 丁目 5
湖南漁業協同組合	大津市馬場 2 丁目 3-3
瀬田町漁業協同組合	大津市瀬田 1 丁目 21-19
山田漁業協同組合	草津市北山田町 3130
志那漁業協同組合	草津市志那町 1436-2
玉津小津漁業協同組合	守山市赤野井町 1419-32
守山漁業協同組合	守山市木浜町中島 2297-1
中主漁業協同組合	野洲市吉川 1645-5
近江八幡漁業協同組合	近江八幡市長命寺町 29-4
沖島漁業協同組合	近江八幡市沖島町 43
能登川漁業協同組合	東近江市栗見出在家町七ノ割
両浜漁業協同組合	彦根市薩摩町 1405
彦根市磯田漁業協同組合	彦根市須越町 599-1
彦根市松原漁業協同組合	彦根市松原 2 丁目 10-5
河瀬鮎苗漁業協同組合	彦根市宇尾町 617-5
河瀬漁業協同組合	彦根市広野町 121-6

河瀬第一協同漁業協同組合	彦根市広野町 17-2
広野漁業協同組合	彦根市宇尾町 504-24
彦根中部漁業協同組合	彦根市犬方町 833
上多良漁業協同組合	米原市朝妻筑摩 9
天野川漁業協同組合	米原市磯 2309-1
長浜漁業協同組合	長浜市新庄中町 189-8
虎姫漁業協同組合	長浜市新旭町 108
南浜漁業協同組合	長浜市南浜町 904
朝日漁業協同組合	長浜市湖北町尾上 144-14
西浅井漁業協同組合	長浜市西浅井町大浦 2276
海津漁業協同組合	高島市マキノ町西浜 42
百瀬漁業協同組合	高島市マキノ町知内 2033-12
浜分漁業協同組合	高島市今津町浜分 251-1
今津漁業協同組合	高島市今津町今津 13
湖西漁業協同組合	高島市新旭町深溝 1129
北船木漁業協同組合	高島市安曇川町北船木 2638
三和漁業協同組合	高島市安曇川町四津川 752-1
高島漁業協同組合	高島市勝野 3022
志賀町漁業協同組合	大津市和邇中浜

河川漁業協同組合

名称	所在地
葛川漁業協同組合	大津市葛川坊村町 237-37
勢多川漁業協同組合	大津市大石富川字岩屋
野洲川漁業協同組合	湖南市夏見 618-5
土山漁業協同組合	甲賀市土山町黒滝 466
日野町漁業協同組合	蒲生郡日野町西大路 1733
愛知川漁業協同組合	東近江市永源寺相谷町 1378
愛知川上流漁業協同組合	東近江市政所町 1692-2
大滝漁業協同組合	犬上郡多賀町川相 437
高時川漁業協同組合	長浜市木之本町川合 3-4
杉野川漁業協同組合	長浜市木之本町杉本 919-1
草野川漁業協同組合	長浜市野瀬町 1023-10
姉川上流漁業協同組合	米原市吉槻 908
丹生川漁業協同組合	長浜市余呉町上丹生 2556
余呉湖漁業協同組合	長浜市余呉町川並 2380-1
三谷漁業協同組合	高島市今津町保坂 327
廣瀬漁業協同組合	高島市安曇川町長尾 671
朽木漁業協同組合	高島市朽木市場 667

高島鴨川漁業協同組合	高島市高島 1645
非出資大戸川漁業協同組合	大津市牧 1-16-12

採食地 シート

滋賀県

採食地番号 aa

漁業協同組合名 南浜漁業協同組合

記入者氏名 記入年月日

記入者連絡先 住所
電話

漁協管理水域 姉川河口(地図の区域)

管理者 連絡先



利用の形態

	・釣り	・網	・やな	・その他	エリ	・養殖
アユ		○	○		○	
ウグイ		○	○		○	
ニゴロブナ		○				
マス		○				
ワカサギ			○		○	
ハス		○	○			
その他					○	

◆カワウの飛来状況

調査結果の有無 あり(①へ) なし(②へ)

① 調査結果がわかる図表などを入れてください

② ・ 飛来数の年間の変化など、印象で結構ですので、書き入れてください
テグス系は効果的だがカワウ等学習能力が高く慣れてしまう。
花火等追払いも一時期だけで現象はしない。

・ 今までに観察した群れで、もっとも多かった時期とおよその羽数
4月～5月 2000羽

・ 季別のおよその飛来数

春3～5月	夏6～8月	秋9～11月	冬12～2月

◆被害の状況（被害の場所と時期）



被害魚種と被害が大きい時期

魚種	アユ	被害時期	3月末から8月中旬	9月初の産卵時期
魚種	ウグイ	被害時期	3月から4月頃	
魚種	ワカサギ他	被害時期	3月から4月頃	
魚種		被害時期		
魚種		被害時期		

◆被害対策 有害鳥獣捕獲以外の対策について、書き入れてください

対策内容	月	考察	ボランティアでやったもの
ロケット花火	4月～10月		
競技用ピストル			
見回り(7日に一回)			
見回り(3日に一回)			
見回り(毎日)	4月～9月		○
素山子			
防鳥糸、CD吊テグス	3月～11月エリおよびヤナ		○
放流時期の調整			
放流方法の工夫			
魚の隠れ場所提供			
防鳥網の設置			

対策費として持ち出した費用
2011年度(100)万円

最も大きい項目
(人件費)

◆有害鳥獣捕獲・学術捕獲 2011年度実績

捕獲場所	エリ周辺
捕獲時期	4月～10月
許可数	100羽
実績	80羽
費用	10万円

効果

駆除個体の利用

最近の捕獲個体数(有害・学術)の推移

2008年	2009年	2010年	2011年
100羽	100羽	100羽	100羽

◆その他ご自由にご記入ください

採食地 シート

カレンダー

採食地番号

漁業協同組合名			南浜漁業協同組合			記入者名			記入年月日			
連絡先		住所:		電話:		FAX:			E-MAIL:			
平成24年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
漁業の流れ						アユ禁漁	アユ産卵	マス採卵	エリ操業			
カワウ飛来数(該当に○)		多(少)無	多(少)無	多(少)無	多(少)無	多(少)無	多(少)無	多(少)無	多(少)無	多(少)無	多(少)無	多(少)無
・最も多い飛来月に◎			◎	◎	◎							
・飛来数記入 (1日平均飛来羽数)		約 羽	約 羽	約 羽	約 羽	約 羽	約 羽	約 羽	約 羽	約 羽	約 羽	約 羽
被害対策(頻度記入) 例:1日2回、週2日												
・見回り		ほぼ毎日	ほぼ毎日	ほぼ毎日	ほぼ毎日	ほぼ毎日	ほぼ毎日	週1回	月1-2回	月1回	月1回	月1-2回
・花火等による追払い		○	○	○	○	○	○	たまに				たまに
・銃器駆除(市町事業含む)		○	○	○	○	○	○	○10/14				
・案山子等の設置												
・防鳥糸(テグス)		○	○	○	○	○	○	○	○			○
・防鳥網												
・分散放流												
・その他()												



●飛来数が多い地点と被害対象魚 被害の状況

2～3月にかけてワカサギ、4～5月にかけてウグイ、4～8月にかけて小アユが主に狙われる。9月アユの産卵、10～11月マスの産卵時期にも狙われる。その他サギなども多い。

カワウの飛来は前年(平成22年)よりも 多い・変わらない・少ない 減少傾向

備考(対策の効果、困りごと、工夫していることなど)
テグス糸は効果的だがカワウ等学習能力が高く慣れてしまう。花火等追払いも一時期だけで現象はしない。

採食地 シート

滋賀県

採食地番号 ba

漁業協同組合名

野洲川漁業協同組合

記入者氏名

記入年月日

記入者連絡先 住所
電話

漁協管理水域 野洲川(地図の区域)

管理者

連絡先

地図



利用の形態

	・釣り	・網	・やな	・その他	エリ	・養殖
アユ	○					
ウグイ						
ニゴロブナ						
マス						
ワカサギ						
ハス						
その他						

◆カワウの飛来状況

調査結果の有無 あり(①へ) なし(②へ)

① 調査結果がわかる図表などを入れてください

4月	5月	6月	7月	8月	9月
7羽	30羽	50羽	50羽	10羽	40羽
10月	11月	12月	1月	2月	3月
50羽	8羽	7羽	5羽	5羽	5羽

② ・ 飛来数の年間の変化など、印象で結構ですので、書き入れてください

アユ放流後に、カワウの群れが飛来し3年前は90%食害の被害があった。

- ・ 今までに観察した群れで、もっとも多かった時期とおよその羽数
6月～7月 100羽

・ 季別のおよその飛来数

春3～5月	夏6～8月	秋9～11月	冬12～2月
15羽	40羽	30羽	5羽

◆被害の状況（被害の場所と時期）



被害魚種と被害が大きい時期

魚種	アユ	被害時期	5月から10月のアユ放流時期
魚種		被害時期	

◆被害対策 有害鳥獣捕獲以外の対策について、書き入れてください

対策内容	月	考察	ボランティアでやったもの
ロケット花火	5月～9月		
競技用ピストル			
見回り(7日に一回)			
見回り(3日に一回)			
見回り(毎日)	4月～10月		○
素山子			
防鳥糸、CD吊テグス	5月～7月		○
放流時期の調整			
放流方法の工夫			
魚の隠れ場所提供			
防鳥網の設置			

対策費として持ち出した費用 2011年度(30)万円

最も大きい項目 (人件費)

◆有害鳥獣捕獲・学術捕獲 2011年度実績

捕獲場所	
捕獲時期	
許可数	
実績	
費用	
効果	
駆除個体の利用	
最近の捕獲個体数(有害・学術)の推移	
2008年	2009年
2010年	2011年

◆その他ご自由にご記入ください

採食地 シート

カレンダー

採食地番号

漁業協同組合名	野洲川漁業協同組合			記入者名			記入年月日					
連絡先	住所:			電話:			FAX:			E-MAIL:		
平成24年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
漁業の流れ		アユ放流	アユ放流	アユ放流								
			アユ解禁				アユ禁漁					
カワウ飛来数(該当に○)	多・少・無	多・少・無	多・少・無	多・少・無	多・少・無	多・少・無	多・少・無	多・少・無	多・少・無	多・少・無	多・少・無	多・少・無
・最も多い飛来月に◎		◎	◎	◎		◎	◎					
・飛来数記入 (1日平均飛来羽数)	約 7羽	約 30羽	約 50羽	約 50羽	約 10羽	約 40羽	約 50羽	約 8羽	約 7羽	約 5羽	約 5羽	約 5羽
被害対策(頻度記入) 例:1日2回、週2日												
・見回り	1回/日	3回/日	3回/日	3回/日	3回/日	2回/日	1回/日					
・花火等による追払い		3回/日	3回/日	3回/日	3回/日	2回/日						
・銃器駆除(市町事業含む)												
・柵山子等の設置												
・防鳥糸(テグス)		○	○	○								
・防鳥網												
・分散放流			○	○								
・その他()												

漁場付近の地図
(飛来数が多い地点と被害対象魚種を地図に書き込んでください。)



●飛来数が多い地点と被害対象魚種
被害の状況

アユ放流後に、カワウの群れが飛来し3年前は90%食害の被害があった。

カワウの飛来は前年(平成22年)よりも
多い・変わらない・**少ない**

備考(対策の効果、困りごと、工夫していることなど)
・防鳥糸は飛来しやすい場所に細かく段差に張っている。
・花火は有効だが、大型花火がより効果あり。